

第2次飯田市教育振興基本計画の中期（4年間）の取組について

飯田市教育委員会

1 計画の位置付け

- (1) 教育基本法第17条第2項に規定する飯田市の教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- (2) いいだ未来デザイン2028における教育分野の個別計画としての位置付け

2 計画策定の趣旨

- (1) 中期の重点目標及びアクションプログラムを策定するものです。
- (2) 第2次飯田市教育振興基本計画は、計画期間を12年間とし、前期（平成29～令和2年度）、中期（令和3～6年度、後期（令和7～10年度）の4年間に分け、各期にその時の課題に対応した重点目標とアクションプログラム（具体的な取組）を定めることとしています。

3 計画期間

平成29年度から令和10年度までの12年間のうち、中期（令和3年度から6年度まで）の4年間

4 計画策定の基本的な考え方

第2次飯田市教育振興基本計画は、12年間の取り組みとして教育ビジョンを掲げ、教育ビジョンを実現するための振興策を進めるにあたり、前期4年間において重点的かつ組織横断的に取り組む3つの重点目標を掲げました。

教育ビジョン「地育力による未来をひらく心豊かな人づくり」

前期4年間

重点目標1

すべての子どもたちが輝く学校を地域ぐるみで創ります

重点目標2

地域と日本と世界を結ぶ「LG（地域・地球）飯田教育」を推進します

重点目標3

「伊那谷の自然と文化」を守り育み世界につながる価値を創発します

【前期4年間の振り返り】

別紙 前期計画（総括）のとおり

【教育を取り巻く環境の変化】

- ・人口減少社会の中で地育力を支える地域の高齢化が進み、また家庭環境の多様化も進むなど、子どもの教育を取り巻く環境が大きく変化しつつあります。
- ・令和元年度末から国内で新型コロナウイルス感染症が発生し、現在のところ新型コロナウイルス感染症と共に活動していく方法を考慮せざるを得ない状況です。

【中期4年間の計画の考え方】別紙 中期計画（素案）のとおり

＜重点目標1＞

前期4年間の振り返りから、子どもの教育の分野では、小中連携・一貫教育や飯田コミュニティスクールの推進により一定の成果はありますが、学力、不登校など引き続き取り組むべき課題があります。

引き続き学力保障・学力の向上、不登校対策などに取り組み、新たに食育、読書活動の観点や、放課後の居場所づくり、安全対策などの項目を加え、地域と教育などを結ぶ、お互いに助け合う心「結いの心」に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育むことを重点目標とします。

＜重点目標2＞

前期4年間の振り返りから、公民館活動やふるさと学習やキャリア教育の推進など一定の成果はありますが、地育力を支える人材に関しては、高齢化、在籍期間の短期化、会員の減少などの課題があります。

地域の公民館活動など住民の自発的、自立的な活動・学習による人材育成を再認識し、豊かな学びの土壌を活かした学習と交流を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育むことを重点目標とします。

＜重点目標3＞

未来をひらく心豊かな人づくりのため、教育や学習といった面ばかりでなく、サークルや趣味の活動、スポーツなどを楽しみ、心や生活にゆとりやうるおいがあることも大切です。一人ひとりが輝くことは地域の輝きにも繋がると考えます。

文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくることを重点目標とします。

5 これまでの経過

- (1) 令和2年4月から教育委員会において前期アクションプログラムの振り返りを行いました。
- (2) 7月29日社会教育委員会議において前期アクションプログラムの振り返りを報告し、協議しました。
- (3) 8月飯田市議会社会文教委員会において、行政評価にあわせて前期振り返りの報告をしました。
- (4) 9月から教育委員会において中期計画の素案を作成しました。

6 今後の日程(予定)

- 1月5日(火)～2月3日(水) パブリックコメント
- 2月12日(金) 飯田市教育委員会定例会 パブリックコメント結果を含めた協議
- 2月22日(月) 飯田市校長会 協議
- 3月12日(金) 飯田市教育委員会定例会 議案附議、計画決定
- 3月19日(金) 飯田市議会全員協議会 計画報告